

# 平成 27 年度 ちょボラ活動のまとめ ～私にもできること運動～

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

ちょボラ活動は、学童期からボランティアに興味を持っていただくために、夏休み期間中“私にもできる”ちょっとしたボランティア活動（ちょボラ）を見つけ、取り組みを通じて、思いやりの心とボランティア意識を醸成することを目的としています。

✿取り組み校 10校 児童数 301名✿

学校名	開始年度	学校名	開始年度
千屋小学校	平成23年度	神代小学校	平成25年度
刑部小学校	平成23年度	塩城小学校	平成26年度
本郷小学校	平成23年度	新見南小学校	平成26年度
西方小学校	平成23年度	草間台小学校	平成27年度
上市小学校	平成25年度	新砥小学校	平成27年度

ちょボラを始める前に…

「出前福祉教室」を実施しました



夏休みが始まる前に、草間台小と千屋小にて出前福祉教室を実施しました。社協の紹介やボランティア（ちょボラ）の取り組み方などの説明を行うほか、今年度は高齢者疑似体験を行いました。音の聞き取りにくさや足の動かしにくさを体験し、歩行介助や声かけの方法、高齢者が抱える身体障がいについて学習しました。

## 👉 高齢者疑似体験の感想

- お年寄りの苦労がよく分かりました。
- お年寄りには大きな声で話しかけ、困っている時には助けてあげたいと思いました。
- おばあちゃんがいつも「足が重たい」と言っていたので、困っていたら手伝ってあげたいです。
- 今まで以上にお年寄りを気づかうようにしようと思いました。



ちょボラを終えて…

## 「ふりかえり出前福祉教室」を実施しました



夏休みが明け、神代小と新砥小にてふりかえり出前福祉教室を実施しました。夏休み中に取り組んだちょボラの内容や感想について発表したあと、ボランティアのおさらいや認知症について学びました。

←絵本「あたしのいもうとちゃん」で認知症の方への理解を深めました。

### 👉 認知症について学んだ感想

- 認知症という病気がよく分かって、すごく勉強になりました。
- 認知症の人にどのように対応すればよいか勉強になりました。
- 認知症について自分でもっと調べたくなりました。
- 私の祖父母がもし認知症になっても尊敬の気持ちを忘れず、身の回りのことを手伝いたいです。子どものために、孫のために一生懸命生きてきた祖父母への尊敬の気持ちを忘れたくありません。

### ..... 出前福祉教室ふりかえりシートの集計結果 ..... 📝

○回答者数：35名

○これからも

“ちょボラ”を続けようと思いますか？

	項目	数	割合
1	はい	35	100.0%
2	いいえ	0	0.0%

○今後も取り組めそう、取り組もうと思う

“ちょボラ”は何ですか？

	項目	数	割合
1	あいさつや声かけ	34	97.1%
2	お年寄りの話し相手	30	85.7%
3	困っている人に声かけ	25	71.4%
4	まちをきれいにする活動	34	97.1%
5	電車やバスで席をゆずる	30	85.7%
6	家族と地域の行事に参加	25	71.4%
7	小さなこどもの世話	34	97.1%
8	その他	30	85.7%



“ちょボラ”とは、普段の生活の中で気づいた「ちょっと」したことに「やさしさ」をもって取り組んでいただくボランティア活動です。

お家の人や先生の場合は「お手伝い」と言ったり、友達同士だったら「親切」と言ったりしますが、お手伝いをするときも、ボランティアに取り組むときも「やさしさや思いやり」が大切です。

今まで家族や友達同士の間で普通にしてきたことを、地域で取り組むことを“ちょボラ”と考えて、これからも取り組んでいただけたらと思います。



## “ちょボラ”活動集計 ～こんなちょボラをしたよ♪～

夏休み終了後に「ちょボラカード」を提出して頂き、どのようなボランティア活動に取り組んだかをまとめました。

提出者は273名でした。



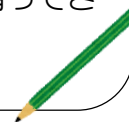
ちょボラ内容	人数	延べ回数
① 地域の人にあいさつ（声かけ）ができた	227	3,530
② お年寄りの話し相手になった	86	397
③ 困っている人に声をかけた	23	41
④ まちをきれいにする活動をした	124	463
⑤ 電車やバスで席をゆずった	20	46
⑥ 家族と一緒に地域の行事に参加した	129	256
⑦ 小さな子どもと遊んだ、世話をした	118	599
⑧ こんなこと（ ）をして喜ばれた	14	24
⑨ その他	15	23

⑧こんなこと（ ）の紹介。

- ・ベルマークを集めた
- ・募金をした
- ・よそのお墓の掃除をした など

### 【考察】

ちょボラ取り組み期間中に、3,530回ものあいさつ・声かけができており、あいさつをすることが生活の中で当たり前になってきているようです。また、まちをきれいにしたり、地域の行事に参加するなど、地域のために何かできることをしようという意識が育ってきています。





## ちょボラに取り組んだ児童の声



(ちょボラをしてみても思ったことや、感じたこと)

○ちょボラはとてもいいことだなと思いました。地域の人にあいさつをすると喜んでくれたり、ゴミを拾うと心がすっきりするので、とても気持ち良かったです。これからもちょボラを行い、良い町にしたいです。

○砂浜の清掃活動に参加して、せっかくきれいな町や自然ができたのに、汚すのはよくないなと思いました。

○困っている人を助けたり、「ありがとう」と言ってもらえると、とても気持ちがいいし、あいさつをして返事が返ってくるとうれしかったです。ずっと続けたいです。

○ちょボラをして、地域のためになにができるかがわかったので、これからも自分からボランティアをしたいと思いました。

○ちょボラをして、少し地域の人と親しくなったように感じました。(ふりかえり出前福祉教室を通して) 高齢者が認知症になったときも、このちょボラが必要だと感じました。



## 家族のことは



(子どもたちの姿を見たり、子どもの感想を読んだ家族の方より)

○ちょボラとしての取り組みは初めてだったけど、今まで身近なところでやってたのではないかな。人の役に立つことは大変だと思うけど、これからも自分でちょボラを見つけて頑張るね。

○明るく、大きな声であいさつをするとお互いに気持ち良くなります。大人の私たちも見習いたいと思います。これからもあいさつを続けて、明るい地域づくりをしていけたらいいと思います。

○いつも地域の人に見守られ、可愛がっていただいていることに感謝して、自分にできるちょっとしたことから取り組んでいけるといいね。まずはしっかりあいさつから始めよう。

○いろんなことによく気がつくので、足腰が痛い近所の方が来られたとわかると、すぐにそばへ行き用事を聞いていて、見ていてうれしかったです。またちょボラをすることで、人とのつながりが増えたり、深まったりしたように感じられ、この取り組みは良いなと思いました。

## あ と が き

新見市社会福祉協議会では、ちょボラの取り組みを通じて子どもの頃からのボランティアや福祉活動を身近に感じてもらうことを目的に、平成23年度からちょボラの推進を行っています。

今年はちょボラの説明と併せて、高齢者疑似体験や認知症についての授業を行い、より福祉に関心を深めるための取り組みを行いました。

私たちの生活の中にちょボラが浸透し、あいさつや困っている人に声をかけるなど、思いやりのあふれる新見市になることを願って、今後もこの取り組みを推進します。



### 社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

〒718-0016 新見市金谷 640-1

☎ 0867-72-7306

・大佐支所 〒719-3503 新見市大佐小阪部 1469-1

☎ : 0867-98-3119

・神郷支所 〒719-3611 新見市神郷下神代 3946

☎ 0867-92-6677

・哲多支所 〒718-0303 新見市哲多町本郷 246-4

☎ 0867-96-3111

・哲西支所 〒719-3701 新見市哲西町矢田 3604

☎ 0867-94-3333

※事務所が  
保健福祉センター内に  
移転しました。



新見市社協イメージキャラクター  
“ピオーラちゃん”です！